

平成 26 年 度

国土交通省大隅河川国道事務所の予算と事業概要

豊かな暮らしを求めて

～安全・自然・利便性を追求する～

平成26年 3月 28日

問い合わせ先 大隅河川国道事務所 TEL 0994-65-2541(代)

河川・砂防事業関係	技術副所長	ながよし しゅうへい 永吉 修平 (内線204)
道路事業関係	技術副所長	ながとし しんたろう 永利 信太郎(内線205)

平成26年度 大隅河川国道事務所 予算概要

- 都市と地方を結び、地域の活性化を図る
- 安全・安心な国土整備で、地域の活性化を図る
- 豊かな自然を創造し、地域の活性化を図る

平成26年度事業費総括表

(単位:百万円)

事業費		平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	(A)／(B)
河川	河川整備事業費等	1,176	1,243	0.95
砂防	砂防事業費	1,900	1,711	1.11
道路	直轄高速	11,389	7,200	1.58
	バイパス等	300	718	0.42
	歩道整備等	810	819	0.99
	小計	12,499	8,737	1.43
計		15,575	11,691	1.33

※事業費は事務取扱費を含んでいない。

※維持管理に関する各事務所の費用は、必要に応じて配分される。

私たちの取り組み姿勢

”地域の皆様の声を反映させながら、大隅を創ります！”

- 情報を発信します
- 地域との対話に努めます
- 地域活動を支援します
- よりよい環境づくりに努めます
- より安全な地域づくりに努めます

◎平成26年度 河川事業のポイント

串良川中流部の河道掘削

(別添:河川①)

串良川中流部の河道は、洪水を安全に流せるだけの断面が不足しています。近年では、平成17年9月の洪水により浸水被害が発生しています。

また、平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検において、流下能力が不足する箇所と位置付けられています。

そこで、浸水被害の軽減を目的として、平成25年度より事業を実施してします。

平成26年度は、河道掘削を実施します。

☆整備内容：河道掘削

肝属川におけるシラス堤強化対策

(別添:河川②)

肝属川の堤防にはシラスが含まれていることにより、一般の土に比べ浸食されやすい性質があります。これまで、大きな出水時に堤防法面からの漏水や一部崩壊等の被害が起こっています。

また、平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検において、堤防への浸透に対する安全性が低く、緊急的に対策が必要な箇所と位置付けられています。このため、堤防点検結果を踏まえ安全性の低い区間を対象に強化対策を計画しています。

平成26年度は、池之園地区(肝付町)の堤防強化対策を実施します。

☆整備内容：堤防強化

甫木水門の老朽化対策及び甫木川の治水安全度向上

(別添:河川③)

甫木水門から肝属川に合流する支川甫木川の周辺地区では、近年(H5、H9、H17)の洪水等で度々、家屋の浸水被害が発生していることから、その対策として県の甫木川改修と連携しながら甫木水門の改築を行います。

また、甫木水門は昭和43年に建築され築後40年以上が経過しており、ひび割れやコンクリート剥離など老朽化が進行している状況にあることから、平成23年度に設計を行い、平成24年度から工事に着手し、平成27年度完成を目指します。

河川管理施設の補修・更新

堤防、護岸及び水閘門等の河川管理施設は、流域住民の生命・財産を台風や梅雨期の洪水から守る重要な施設です。

肝属川管内の河川管理施設については、施工年次が昭和30～50年代に施工されたものが多く、鉄筋コンクリート部の劣化などの老朽化による機能低下が生じています。

そのため、適切な補修や機器の更新を行い施設の機能回復や機能向上を図ります。



補修前



補修後

老朽化樋管補修事例

河道の維持管理

河道に堆積する土砂や河川敷に繁茂する樹木は、洪水を安全に流下させるための障害となります。

このような、堆積土砂等を計画的に撤去・伐採し、河道を健全な状態に維持しています。

平成26年度においては、土砂撤去及び樹木伐採を行います。



堆積土砂の状況



堆積土砂掘削後

①串良川中流部の河道掘削

【概要】

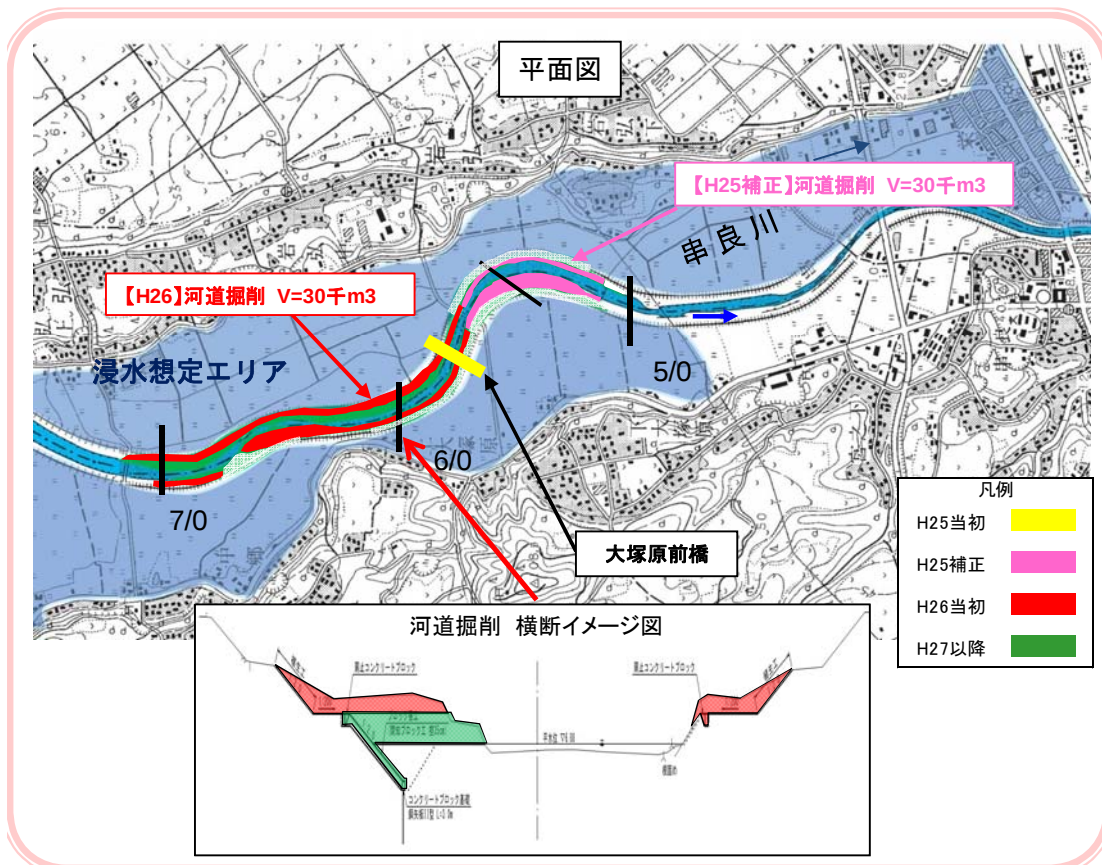
東串良町、鹿屋市串良町の市街地を流下している串良川中流部の河道は、洪水を安全に流せるだけの断面が不足しています。また、近年では、平成17年9月の洪水により浸水被害が発生しています。

このため、河道内の掘削を行い河川の断面積を増やすことで洪水時の水位を低下させ、氾濫被害リスクを軽減します。

【事業内容】

- ・河道掘削

【整備箇所：鹿児島県鹿屋市串良町、肝属郡東串良町】



②肝属川におけるシラス堤強化対策

【概要】

肝属川の堤防にはシラスが含まれていることにより、一般の土に比べ浸食されやすい性質があります。これまで、大きな出水時に堤防法面からの漏水や一部崩壊等の被害が起こっています。

このため、堤防点検結果を踏まえ安全性の低い区間を対象に堤防強化対策を実施します。

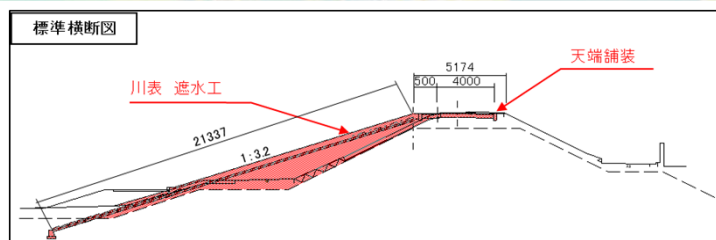
【事業内容】

- ・堤防強化（川表遮水工、天端舗装）

【整備箇所：鹿児島県肝属郡肝付町】



始良川における堤防の被災状況
(平成16年8月)



③ 甫木水門の老朽化対策及び甫木川の治水安全度向上 (特定構造物改築事業)

【概要】

甫木水門から肝属川に合流する支川甫木川の周辺地区では、近年(H5、H9、H17)の洪水等で度々、家屋の浸水被害が発生していることから、その対策として県の甫木川改修と連携しながら甫木水門の改築を行います。

また、鹿屋市串良町甫木水門は昭和43年に建築され築後40年以上が経過しており、ひび割れやコンクリート剥離など老朽化が進行している状況にあることから、平成23年度に設計を行い、平成24年度から工事に着手し、27年度までの5年間で緊急的に整備を実施します。

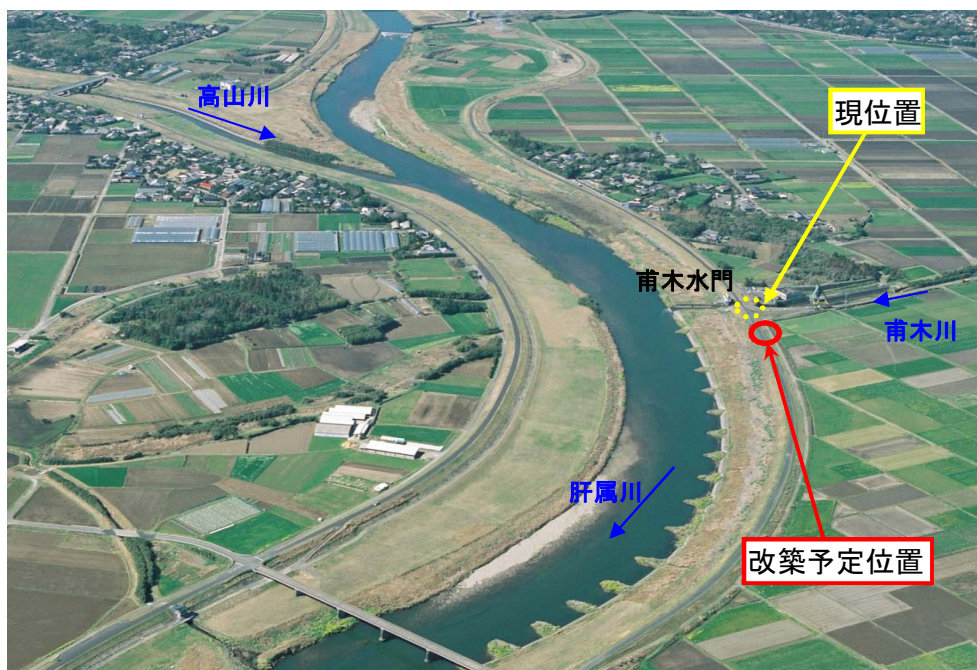
【事業内容】

- ・水門改築(上屋工、ゲート設備設置等)

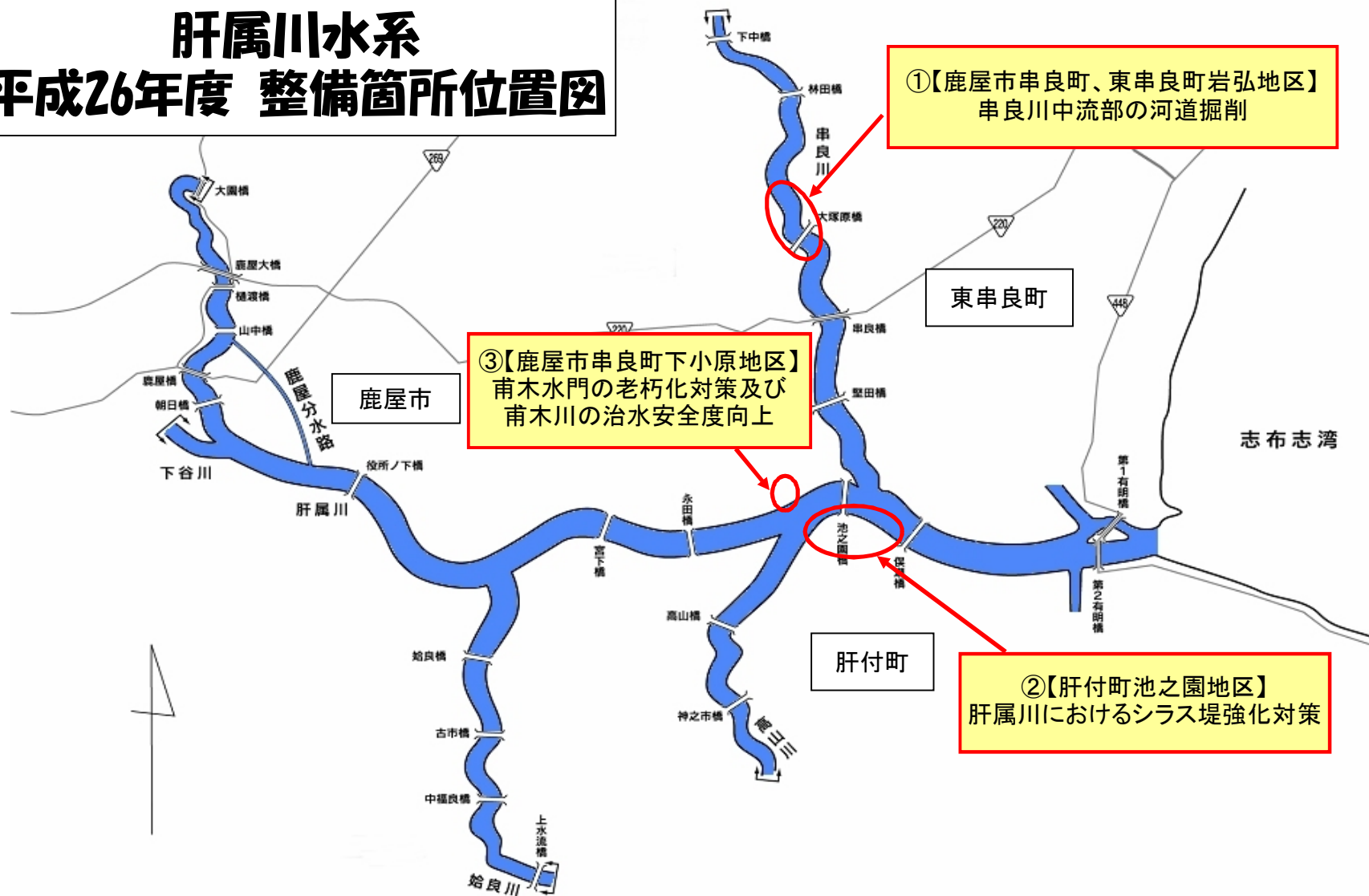
【整備箇所：鹿児島県鹿屋市串良町】



現在の甫木水門



肝属川水系 平成26年度 整備箇所位置図



◎平成26年度 砂防事業のポイント

^{は せ} 長谷川砂防施設群の整備促進

(別添:砂防①)

侵食が進行している北岳周辺からの土石流に対し、遊砂地工の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、武・赤生原地区の民家・主要地方道桜島港黒神線等を保全します。なお、平成26年度は遊砂地工(掘削工・床固工・導流堤工)の整備を促進します。

☆整備内容: 遊砂地工(掘削工・床固工・導流堤工)

砂防施設の機能確保(砂防管理)

(別添:砂防②)

桜島の噴火に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保することが困難な砂防設備について、国で管理を実施しています。なお、平成26年度も引き続き、土石流土砂除去や砂防施設補修を実施し、土砂流出による災害から人命財産を保全します。

①長谷川砂防施設群の整備

【概要】

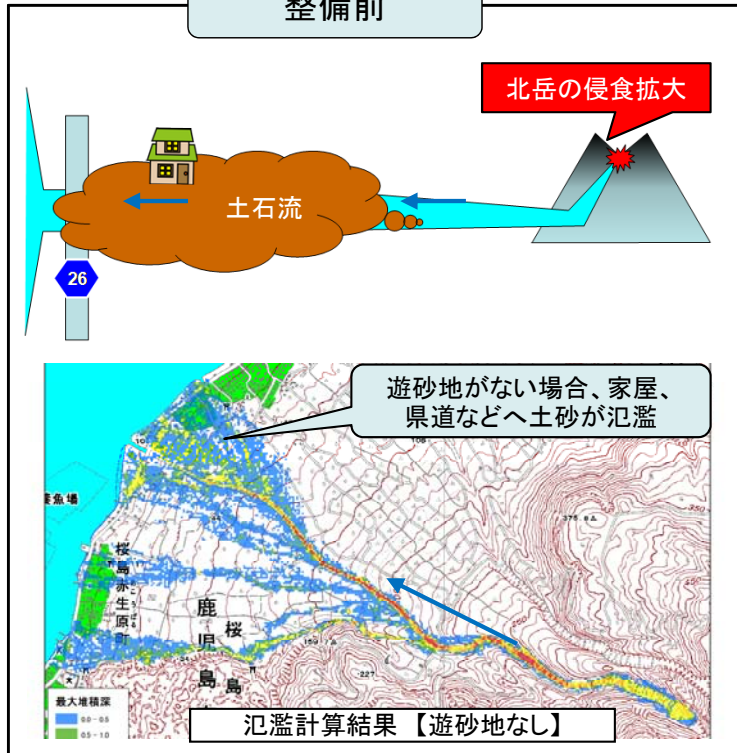
- ・長谷川は、桜島の北部に位置し、北岳火口を源頭とする河川。
- ・北岳河口部の侵食が拡大し、それに伴う土砂災害の危険が高まっている。
- ・遊砂地工の整備を推進し、下流域の民家及び県道26号を保全する。

【事業内容】

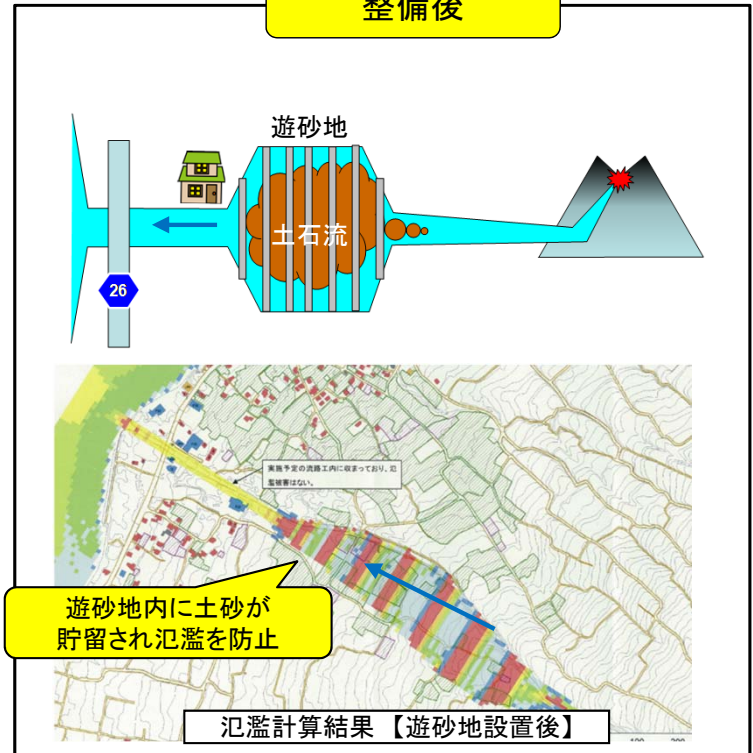
- ・遊砂地工 一式（掘削工・床固工・導流堤工）

遊砂地工の整備効果イメージ

整備前



整備後



②砂防施設の機能確保(砂防管理)

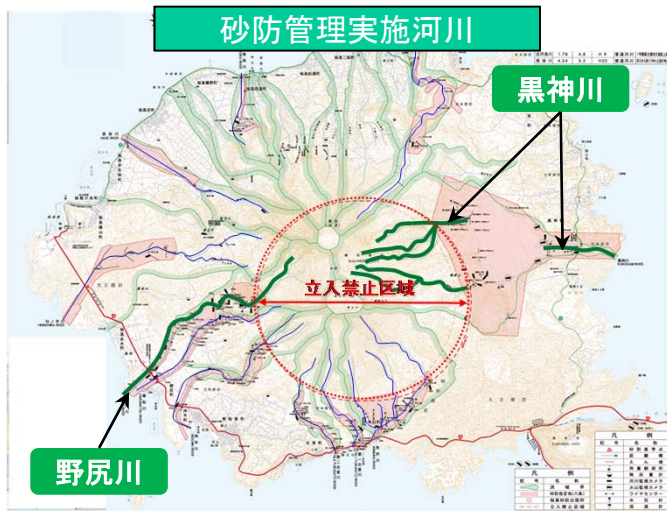
【概要】

・桜島の噴火に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保する
とが困難な砂防設備について、国直轄で管理を行い土砂流出による災害から人
命財産を保全します。

【事業内容】

- ・除石工 1式
- ・砂防設備修繕 1式

位置図



爆発的噴火回数
H22年 : 896回
H23年 : 996回
H24年 : 885回
H25年 : 835回

桜島、活発化の傾向

無尽蔵に供給される土砂

土石流頻発

土砂の異常堆積
砂防施設の摩耗・劣化



随時除石を実施し、国道・民家への氾濫防止



砂防施設を適正に管理し、機能を維持

◎平成26年度 道路事業のポイント

高 速 道 路 東九州自動車道の整備推進

(別添:道路①)

- ・曾於弥五郎ICそ お や ご ろ う～末吉財部IC間す え よ し た か ら べ(L=11.1km)については、平成22年3月14日開通(2/4)済み。
- ・鹿屋串良JCTかの や く し ら～曾於弥五郎IC間そ お や ご ろ う(L=17.7km)については、平成26年度開通(2/4)予定。
- ・志布志IC(仮称)し ぶ し～鹿屋串良JCT間かの や く し ら(L=19.2km)については道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び橋梁上下部工・改良工事を推進します。

国道220号古江バイパスふる え 古里地区道路整備推進ふる さと

(別添:道路②)

- ・白水しろ みず～古里地区ふる さとの道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁下部工・改良工事を推進します。

交 通 安 全 事 業 安全な歩行空間の実現へさらに前進

(別添:道路③)

- ・歩行者の安全性の向上を図るために歩道整備を行います。

- 自歩道整備推進:益丸ますまる自歩道整備事業
- 歩道整備推進:牛根麓うしねふもと歩道整備事業、二川ふたがわ歩道整備事業、牛根境うしねさかい歩道整備事業、古里ふるさと歩道整備事業、みやざきしょうじみやざきしょうじ宮崎小路歩道整備事業、さくらじまあかみずさくらじまあかみず桜島赤水歩道整備事業

維持管理 安全・安心な道路環境を保つために

- ・地域の実情や路線の特性を踏まえ、道路の巡回や路面清掃、除草、道路植栽管理、舗装補修などを実施します。
- また、道路施設の老朽化については定期的に点検を実施し、計画的に橋梁補修や防災対策などを実施します。

①東九州自動車道

平成26年度は鹿屋串良 JCT～曾於弥五郎 IC間の舗装・道路附属物工事を推進し、年度内の開通（2／4）を目指します。

また、志布志 IC（仮称）～鹿屋串良 JCT間の道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び橋梁上下部工・改良工事を推進します。

事業の概要

当路線は、九州縦貫自動車道及び九州横断自動車道とともに、九州の高速自動車国道のネットワークを形成し、東九州地域の産業・経済・観光・文化の振興と均衡ある発展を図り、また交通混雑の緩和、輸送時間の短縮など沿線諸都市の生活向上・活性化に資するために計画されたものです。

■平成26年度 志布志（仮称）～末吉財部間

○曾於弥五郎 IC～末吉財部 IC

平成22年3月14日開通（2／4）

○鹿屋串良 JCT～曾於弥五郎 IC

平成26年度開通予定（2／4）

舗装工事、道路附属物工事

○志布志 IC（仮称）～鹿屋串良 JCT

田原川橋外2橋（本線橋）： 上部工工事

細山田橋外4橋（本線橋）： 下部工工事

埋蔵文化財： 永吉天神段遺跡外調査

道路設計、用地買収、橋梁上下部工、改良工事



② 国道 220 号 古江バイパス

平成 26 年度は白水～古里地区の道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び橋梁下部工・改良工事を推進します。

目的 鹿屋市白水町から垂水市 新城 までの交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路事業。

起・終点 (自) 鹿屋市白水町～(至) 垂水市 新城

計画諸元 ・事業化：平成元年度

・構造規格：第 3 種第 2 級 ・設計速度：V = 60km/h

・延長：L = 7.5km ・W = 11.5 ～ 15.0m

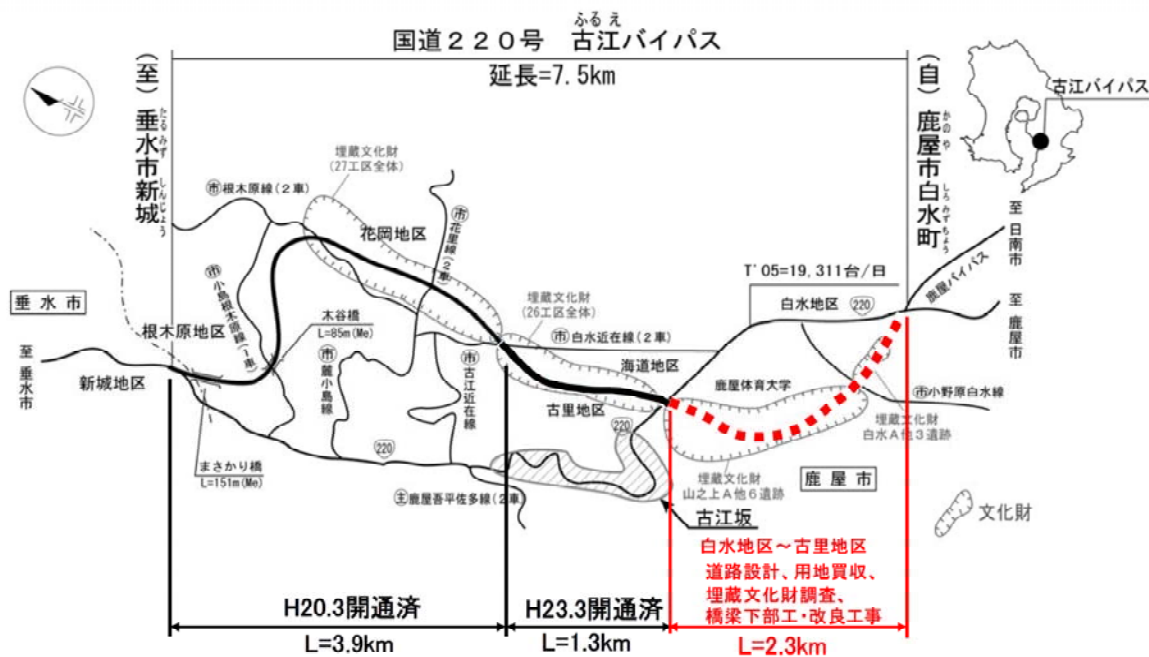
・平成 25 年度末までの開通延長：L=5.2km

平成 26 年度予定事業

○白水～古里地区 (L = 2.3km)

・白水跨道橋(仮称)：下部工工事

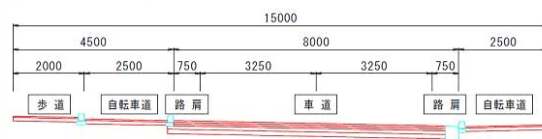
・道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁下部工・改良工事



白水地区取付道路施工状況



標準断面図



③交通安全事業

歩行者の安全性の向上を図るために歩道整備等を行います。

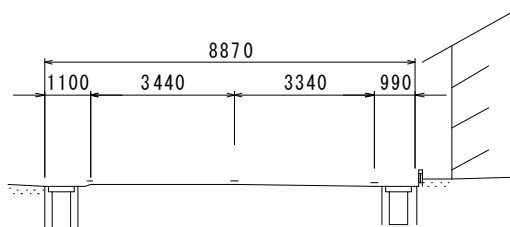
平成26年度予定事業

国道220号	益丸自歩道整備事業	延長=1520m	道路設計、 用地調査・用地買収の着手（曾於郡大崎町）
国道220号	宮崎小路歩道整備事業	延長=130m	用地買収・工事推進（垂水市）
国道220号	牛根麓歩道整備事業	延長=610m	用地買収・工事推進（垂水市）
国道220号	二川歩道整備事業	延長=1090m	用地買収・工事推進（垂水市）
国道220号	牛根境歩道整備事業	延長=930m	用地買収・工事推進（垂水市）
国道224号	古里歩道整備事業	延長=1400m	用地買収・工事推進（鹿児島市）
国道224号	桜島赤水歩道整備事業	延長=940m	用地買収・工事推進（鹿児島市）

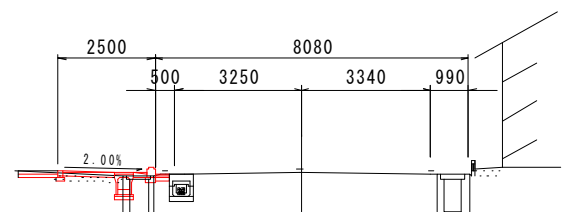
垂水市 牛根境歩道整備



【現況】



【計画】



歩道を新設することで
安全・安心な歩行空間を確保。

平成26年度 道路事業箇所図

桜島赤水歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

宮崎小路歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

牛根境歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

二川歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

牛根麓歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

古里歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査、
橋梁上下部工・改良・舗装・
道路付属物工事の推進

白水地区～古里地区
道路設計、用地買収、
埋蔵文化財調査、
橋梁下部工・改良工事の推進

益丸自歩道整備事業
(道路設計、用地調査・用地買収着手)

事前通行規制区間
L=3.8km

東九州自動車道

都城市

志布志市

志布志港

- 事業箇所(事業中)
- 事業箇所(供用済み)
- 国道220号・224号